

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	スーパー（店長）	・今の客の様子を見ていると、価格の安さだけに反応するのではないようで、良い物も売れている。3か月前に競合店が開店したが、その影響も徐々に落ち着いてきており、現状の傾向が続けば、3か月後は良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・業種によっては依然として厳しいところもあり、特に、夜の飲食関係は、良くなるまでにもう少し時間がかかるが、全体的には良い方向に向かっている。
		百貨店（売場主任）	・ボーナスの支給高から、冬物防寒衣料、クリスマス商戦での高額商品の売上が期待できる。衣食住全般にわたり、客の購買意欲が活発になっている。
		百貨店（企画担当）	・11月は自社カードのフェアがあったため、中盤以降も前年水準を上回っている。ファッションだけでなく、ギフトセンターも前年を大きくクリアする状態になりつつある。
		百貨店（広報担当）	・現在、品ぞろえの幅を広げており、これが来客数や購買客数の増加につながっている。この流れは当分続く。
		百貨店（営業担当）	・冬物衣料、雑貨が底固く、今後の伸びにも期待できる。
		百貨店（営業担当）	・好業績企業のボーナスが大幅増で、大型商材、高単価商材の動きが活発になっている。原油高が気掛かりではあるが、堅調な個人消費は当分継続する。
		百貨店（営業企画担当）	・お歳暮ギフト、コートなど季節商材の客単価が5%程度上がっており、気に入った物があれば客の財布のひもが緩む兆しがみえ始めている。
		百貨店（販売管理担当）	・6月から上向っている売上好調の波は継続しており、クリスマス商戦にも期待できる。ただし、アパレルでコートが早期にセールに入る傾向があり、単価の低下が懸念される。食品では、鳥インフルエンザの影響が心配である。お歳暮ギフトは、一般的に縮小傾向であるため、前年を多少割る模様である。
		スーパー（店長）	・冬物衣料、雑貨、飲料含めて、来客数増、単価上昇で全般的に好調である。20歳代のOL、ビジネスマンを中心に、消費意欲が高まってきている。
		スーパー（統括）	・客の買物の様子が全体的に今までより明るく、余裕のある客が増えている。雇用状況も改善しているのか、当店ではパート社員の募集もなかなか集まらない。
		衣料品専門店（経営者）	・婦人物の動きが良いので、冬物の好調が持続すると思う。天気にも恵まれ気温も低く、今後も冬物商材は良くなる。
		家電量販店（営業統括）	・冬季オリンピック、サッカーワールドカップなど魅力あるイベントが控えているので、引き続き液晶テレビやDVDレコーダは売れる。
		乗用車販売店（販売担当）	・近い将来、モーターショー出品車両等の魅力的な車両の販売が予定されているので、今まで買い控えていた人が購入へ動き出す。
		乗用車販売店（営業担当）	・新車の発売を控えており、購入する客が増える。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・客層を絞った催事の打ち出しが功を奏している。商品の機能や品質を明確に提案できれば、期待が持てる。
		一般レストラン（経営者）	・今月のイベントが成功したので、引き続き良くなる。
		都市型ホテル（支配人）	・上場企業の冬季賞与が全体的に良く、年末年始以降の消費行動に期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会関係では、新規の企業からの問い合わせが発生していることから、少しずつ良くなると期待している。レストラン関係では、会社をあげて「記念日の食事会」の広告とメニューを打ち出しているが、七五三の利用が前年より増えたことを考えると、春先の卒業や入学記念の個人利用が増加する。ただし、競合相手が更に進出することが決まっているので、客の奪い合いが客単価の下落につながり、売上が伸びない可能性があることが懸念材料である。
		旅行代理店（従業員）	・スキーなどの団体旅行の先行受注が見込まれる。
旅行代理店（従業員）	・業務用に加え、観光用チケットの販売増に期待できる。		
通信会社（営業担当）	・低価格化による薄型テレビの需要増に引きずられる形で、デジタル化が進んでおり、インターネット契約にも対応に動きがみられる。		

	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・家庭用ゲーム機の新製品がこれから市場に投入される。第一弾の商品は12月中旬に発売予定であるが、先行販売されたアメリカでの人気も上々で、日本でも市場は期待感一杯で待ちわびている。その他にも、今後新製品の発売が続き、ますます市場は活況を呈する。
	その他レジャー施設 (経営企画担当)	・個人利用のホテル客室売上や婚礼売上が底を打った感があり、前年水準に回復することが期待できる。
	その他サービス[語学 学校](総務担当)	・ホームページのアクセス数が増加している。
変わらない	一般小売店[茶](経営者)	・自治体のプレミアム付商品券が11月に復活発売された。商品券千円の11枚つづりで10%上乘せ方式、1冊1万円での販売だが、発行冊数5万冊が発売後2時間ほどで売れた。消費者の反応が良く、地元商店街を身近な商店として見直す機会になればと期待している。
	一般小売店[鞆・袋物](従業員)	・12月のクリスマスや年末年始の需要について、商品の売れ筋確保と同時に、店頭での演出がポイントになる。ここ半年間ほど、ギフト需要の単価は2割ほど上昇しているため、客の購買意欲がわくようなディスプレイをすることで特別な需要の売上は見込める。ただし、一般商品の単価は下落しているため、全体の売上は前年並みで推移する。
	一般小売店[CD] (営業担当)	・低価格帯の商品については消費者の購買意欲は引き続き堅調だが、他の商品への波及効果は小さい。
	百貨店(総務担当)	・秋冬物衣料の売上が良くなっている一方で、飲食関係が前年割れするなど、依然として不安材料がある。
	百貨店(総務担当)	・購買単価はやや持ち直しているが、改善しているのはごく一部に限られている。
	百貨店(営業担当)	・天候が安定しており、11月中旬以降は気温の低下とともに、コート、ジャケット、ニット等の冬物衣料の売上が増加している。日経平均株価も1万5千円台に近づいており、個人消費の拡大につながりつつある。
	百貨店(営業企画担当)	・婦人服を中心とした衣料品は、暖冬の影響等もあり、あまり伸びが期待できず、前年比マイナスが予想される。美術品等の高額商品等の動きも出てきているが、売上全体としてはあまり変わらない。
	スーパー(店長)	・12月はクリスマスが3連休で、特にイブが土曜日であるため期待できる。昨年は大みそかに雪が積もったことなどから、前年を大幅にクリアできると思うが、鳥インフルエンザの影響が大きな懸念材料である。
	スーパー(店長)	・競合店の特売価格が更に低下しており、一品単価および客単価の下落に歯止めがかからない。
	スーパー(店長)	・今年5月に大型ショッピングセンターができて以来、前年比92~93%で推移しており、年末年始もこのままの状態が続く。
	スーパー(統括)	・来客数は減少していないが、買上点数は昨年を上回る状況にない。
	コンビニ(経営者)	・様々なセールやフェアを実施しており、来客数はあるが、客単価が低下している。販売量は同水準で推移しており、この先も少し苦戦気味で現在の状態が続く。
	コンビニ(店長)	・11月の一大イベントであるボージョレーヌーボーは残り数本となっているが、売上に2、3年前の勢いはない。
	コンビニ(商品開発担当)	・年末年始のクリスマスケーキ、おせち料理の予約状況から判断して、不景気な状態が続く。
	衣料品専門店(経営者)	・12、1月は暖冬ムードで、セール品も必要品以外の購買が見込めない。秋がなかったため秋物商戦が苦戦したように、2月の春物の立ち上がりも不安である。
衣料品専門店(店長)	・毎年バーゲン時期が早くなり、来客数の動きが前倒しされる可能性があるため、2、3か月先は現状維持が場合によっては悪くなる。	
衣料品専門店(営業担当)	・景気は依然として予断を許さない状況である。気温の上下に関係なく、消費者の販売意欲が低い。販売の中心は日常的な商品であり、高額商品の売上は低迷している。	
衣料品専門店(次長)	・今のところヒット商品が特に見当たらないが、天候さえ悪くなければ現状と同水準で推移する。	
家電量販店(経営者)	・単価の下落が大きく、数量を多く販売しても追いつくのが困難な状況である。薄型テレビやデジタルオーディオなど、好調分野は参入メーカーも多く、次々と新製品が出てくるので、人気を維持できる期間が短くなり、商品仕入れの読みが難しくなっている。	

	家電量販店（店員）	・トリノオリンピック等もあるが、景気が良くなるような起爆剤ではないので、それほど良くなることはない。	
	乗用車販売店（総務担当）	・10月より販売量が前年比20%程度の減少傾向にある。新車の発売が予定されているが、現状の落ち込みが大きいので、新車が出ても厳しい状況は変わらない。	
	乗用車販売店（渉外担当）	・新車販売の苦戦を補うため、整備、板金、用品販売において客への提案を増やす努力をしている。サービス売上は、予算達成率86.4%の見込みであり、5か月ぶりに前年同月を上回るか微妙なところである。アウトドアグッズの売上は好調だが、通常の有償整備の伸びがない。	
	自動車備品販売店（経理担当）	・地震等への備えに関心が高まっていることから、自動車部品とは関係ない用品を販売したところ、売上が結構伸びている。ただし、まだ客の財布のひもは堅く、先行きに不安がある状態は変わらない。	
	その他専門店〔キャラクターグッズ〕（従業員）	・一部の客から、余暇時間の確保が困難であることや可処分所得の減少に伴い来店頻度が減っているとの話を聞いている。	
	一般レストラン（経営者）	・忘年会の予約が例年になく早い。この2、3年、少人数の宴会が多かったが、今年は人数の多い会が増えている。	
	通信会社（営業担当）	・トリノオリンピックが開催されるので、地上デジタル、BSデジタル関連の需要が若干高まるが、そのままCATVの加入促進に大きく影響し、販売が増加するとは考え難い。	
	通信会社（営業担当）	・料金やサービスに敏感となっている客の様子が見受けられ、他社のサービスへの切替えも起きてくる。	
	競馬場（職員）	・4～11月までの成績推移、来場者数、他競技の状況に、明るい材料はない。現在売上は前年度比102%で昨年同様の状況であるが、来場者数と共に徐々に減少しており、年度末には昨年を下回る可能性がある。単価も下がったままである。	
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・生徒数の減少は止まった感があるが、問い合わせ数も変わらず、横ばいである。	
やや悪くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・商品単価の下落で、売上があまり伸びていかない。また、一時期のような液晶ブームもない上、企業の設備投資の話もない。	
	その他専門店〔燃料〕（統括）	・暖冬傾向にあるため、冬場商品の灯油販売量が減少し、計画利益が確保できない。	
	都市型ホテル（経営者）	・今後3か月は忘年会や新年会等があるが、近隣の大型展示場でのイベントも少なく、宿泊の大きな売上は見込めない。婚礼も1、2月は閑散としている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・団体利用の宴会場や宿泊は前年と同じ売上となっているが、個人利用のレストランは数字を落としている。今後も個人利用が減少することを心配している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・建築構造計算書偽造問題は建設業界だけでなく思わぬところに影響している。	
	設計事務所（経営者）	・耐震強度偽造の問題で、建築設計事務所では新規案件の獲得ではなく、過去若しくは現在の仕事に対する責任が問われる動きがある。業況が上向くことは考えられない。	
	設計事務所（所長）	・土地の出回りが悪く、分譲物件が多少減っている。個人の建物は多少上向くかもしれないが、全体的な設計量は減少する。	
	住宅販売会社（従業員）	・今話題になっている構造計算書偽造の問題が元で、1件契約が中止に追い込まれた仕事があり、今の状況では今後も契約が減少する感がある。	
悪くなる	コンビニ（経営者）	・競争の激化等から、売上、来客数共に伸びる要因は全く見当たらず、悪化の一途をたどっている。	
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・明確な差別化が進まないなかで、競合店が11月にオープンした。	
	旅行代理店（従業員）	・団体旅行の問い合わせや先行予約件数が極端に少ない。	
	美容室（経営者）	・近隣にまたディスカウント店が一店増えている。	
	設計事務所（営業担当）	・発注案件が少なく、過当競争が一層激しくなる。	
	住宅販売会社（経営者）	・同業でも大企業では景気が回復しつつあるが、今回のマンション構造計算書偽造問題で、マンション業界全体が冷え込む危険性がある。	
企業動向関連	良くなる	輸送業（財務・経理担当）	・新規受注並びに既存の物流が増加する。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・年度末に向けての提案が多くなってきており、受注の増大が見込める。

	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・再来月あたりから新規受注が立ち上がるため、現在よりも少し良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いに対する見積の成約が、徐々に増加する傾向にあるので、特別な経済の影響を受けない限りは良くなる。
		金融業（審査担当）	・投資用不動産購入に対する客の意欲が目立つようになってきている。
		不動産業（総務担当）	・当面、テナントの退出予定もなく、好調を持続できるめどが立っている。
	変わらない	繊維工業（従業員）	・春物衣料の製造への期待はあるものの、現状では不透明である。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらずスポット商品に頼る部分が大きく、毎月継続して動く商品が少ない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・特需が出そうであったが、やはり競争は厳しく、見積を再提示し直した後も受注に至っていない。古くからの得意客であっても、価格面での要求は厳しい。ネット関係も行っているが、今一つ受注が伸び悩んでいる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・例年、年始から春先にかけて受注量が落ちるが、ある客からは増産予定の話も聞いている。しかし、海外生産シフトやコストダウンの要求、原油の価格など、先行きは不透明で楽観はできない。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先の生産拡大による効果が出ており、新規の引き合いも増えている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・現在新型トラックのミッションを製造しているほか、輸出用等、様々な用途の仕事も入っているので、特別なことがなければ、現状の良い状態で推移する。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・我々の業界では、特色ある商品作りができる人たちは、かなり仕事も増えてきている。ただし、それは絶対的な強さをもったものではない。
		建設業（経理担当）	・小工事が多く忙しいが、大型物件は依然少ない。この先もなかなか大型物件は見当たらない。
		建設業（営業担当）	・建設業界に大きな波紋を引き起こしている耐震構造問題について、客が新規建物を含めて不安になっているので、今後受注量に影響が出てきそうである。
	輸送業（総務担当）	・物量が増えない見込みである上、燃料が高値安定で運賃に転嫁できない状況が今後も続く。何らかの支援策がなければ、中小の物流業者は企業存続が困難になる。	
	金融業（得意先担当）	・各企業の利益幅が縮小し、小売業でも消費が戻ってこないことから、当分今の景気が続く。	
	不動産業（経営者）	・15万円以上の賃貸物件は急激に値下がりしており、空き家が相当あるので、当面景気は上向かない。	
	広告代理店（従業員）	・取引先の自営印刷業者が年内で廃業する。零細事業者の仕事がパソコンに取って代われ、事業者の淘汰は続く。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・同業他社との競争激化が予想される。	
	やや悪くなる	プラスチック製品製造業（経営者）	・11月は年末商戦に向けて材料関係が少し動いているが、2、3か月先はまた減少する。
		金融業（渉外担当）	・耐震強度偽造問題で、今好調なマンション売行きに陰りが始まるのではないかと懸念がある。
	悪くなる	非鉄金属製造業（経理担当）	・受注がない。
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・以前とは異なり、来年の2、3月からの派遣依頼が入っているなど、企業が積極的に人材募集をする傾向がみられる。
		人材派遣会社（営業担当）	・金融機関及びその子会社は、採用及び派遣受け入れを18年4月以降も拡大することを表明している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・最近企業の採用担当から、どのような広告媒体に求人を出しても人が集まらないと聞いている。これまでは、低賃金でも景気が悪いから人は集まると決め付け、人件費削減や派遣に依存してきた企業が、その反動で対応策を迫られている。今後は、待遇を向上させた求人が増える可能性が高い。
やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・正社員で人材を採用する企業が増えており、紹介や紹介予定派遣のニーズがますます拡大する。紹介前提での依頼であれば、人材も集めやすい。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・採用PR予算が増えている。これまで中心メディアだったWEBと同時にDMを併用するケースも散見される。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・年明け後も、年度末までは現在のような求人数の増加傾向が続く。第二新卒や新卒の依頼もある。	

	民間職業紹介機関（経営者）	・メーカー、建築関係のところを含めて、求人数がかなり安定している。新卒の求人、キャリア求人も着実に伸びていて、バブル期のように優秀な人材を将来に向けてどんどん確保したいと、企業が将来の見通しをかなりしっかり立てているように感じられる。
	学校〔専門学校〕（教務担当）	・コンピュータ企業からの追加募集が、今までになく多い。求人票の送付だけでなく、来校する人事担当者も多く、採用側の熱意を感じる。システム開発の受注が多くなっており、人材不足とのことである。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・求人の依頼が沢山あるが、20代から40代の求職者がなかなか集まらない。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・季節的な人材流動による求人数の増加は見込める。有効求人倍率が上がり、採用が難しくなっている現状は今後も続くため、景気は大きく変わらない。
	求人情報誌製作会社（企画担当）	・請負やテレマーケティング等、一部の人材系企業では採用手控えが出てきているが、派遣や一般求人は好調な求人数が維持されている。
	職業安定所（職員）	・早く就職を決める人は多くなっているものの、求職者の半数を占める45歳以上ではなかなか就職が決まらない人が多く、中高年については厳しい状況が続いているため、先行きについては不透明な面もある。
	職業安定所（職員）	・建設業からの求人が好調で増加しているが、製造業が減少しており、大手製造業でも大幅な人員削減の動きがあるようである。
	職業安定所（職員）	・求人倍率は横ばいが続いている。小売業、製造業で閉鎖があり、求職者数の増加が予想される。また、原油高の影響で運輸業、製造業などで求人意欲の低下がみられる。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	・ここ数か月の求人獲得数の上昇傾向は大きく変化する要素がなく、10%増程度で推移する。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-